



千葉県日独協会  
Japanisch-Deutsche Gesellschaft der Präfektur Chiba  
事務局 〒274-0822 船橋市飯山満町 2-518-1  
第2ワールドナースィングホーム内  
Tel 047-461-9111 Fax 047-461-7010  
E-mail: [info@jdg-chiba.com](mailto:info@jdg-chiba.com) URL: <http://jdg-chiba.com>

2017年12月9日

市民の皆さま

千葉県日独協会

会長 金谷 誠一郎

## 千葉県日独協会・2018年新春講演会のご案内

日頃から、多くの市民の皆さまや関係自治体、団体の皆さまには当協会へのご支援、ご協力をいただきまして、厚くお礼を申し上げます。

当協会は2018年明けの2月に恒例の新春講演会を開きます。

講師は国立歴史民俗博物館館長、久留島 浩氏です(略歴と写真は後記)。

**演題は「在外日本関連資料調査の現状と課題—シーボルト・コレクションを中心に—」です。**

久留島氏は「国立歴史民俗博物館では、10年以上にわたって、主にドイツにあるシーボルト父子関係資料の調査を行なってきました。その調査の状況と成果としての展示『よみがえれ！シーボルトの日本博物館』や出版物の概要、及び今後の計画についてお話しをします」と、述べています。

シーボルトは19世紀に2度来日したドイツ人の医師・博物学者です。江戸時代、近代的な西洋医学を日本に伝え、日本の自然や生活文化関係の収集資料を多数持ち帰り、後世の日本学や植物学に大きく貢献したことで知られています(「よみがえれ！シーボルトの日本学物館」から)。

久留島館長はシーボルト研究を主導され、学問としての「民族学」が胎動しつつあった欧州に与えたシーボルトの功績について、興味深いお話しをしていただけるものと期待されます。また、東アジアに対するドイツの関心は中国に大きく傾きかけている中で、日本研究と研究者の現状と課題についても詳しく語ってくださると思います。

多くの皆さまのご参集をお待ちしています。

記

**1. 講演の日時: 2018年2月10日(土)午後3時~5時**

**2. 場 所: 船橋市中央公民館=船橋市本町2-2-5 電話: 047-434-5551**

**3. 申し込み&問い合わせ: E-mail: [info@jdg-chiba.com](mailto:info@jdg-chiba.com)**

**4. 参加費用: 無料**

## 国立歴史民俗博物館 館長 久留島 浩氏

### 【略歴】

1983年東京大学大学院博士課程単位取得退学。同文学部助手、千葉大学教育学部助教授、国立歴史民俗博物館助教授、教授を経て、2014年4月から現職。

2002年博士（文学）。専門は日本近世史で、江戸幕府直轄地（幕領）の村落を中心に研究し、19世紀の地域社会がいかなる意味で日本の近代社会を準備したのかについて考えてきた。

（『近世幕領の行政と組合村』東京大学出版会、2002年）。

旧家に残る史料を調査・研究し、多くの自治体史編纂に関わり、地域社会が変質・解体するなかで、地域に残る歴史資料の保存・活用についても大きな関心を持つ。同時に、地域社会のなかで歴史民俗系博物館が果たすべき役割や、博物館における表象の問題を歴史展示に関わらせて検討してきた。（『異文化』を展示すること・『自文化』を展示すること』『国立歴史民俗博物館研究報告』140号、2008年）。『描かれた行列—武士・異国・祭礼—』東京大学出版会、2015年



以上